

株式会社 青木光悦堂

高齢者施設向け「カシデリ」事業の物流整備とIoT導入によるオートメーション化

高齢者施設向け「カシデリ」事業専用の物流拠点開設に伴う設備機械導入とIoT機器導入による基幹ソフトとの連携による事務・物流のオートメーション化を図り、大量受注・大量荷さばき可能システムを構築する事業。

■ 代表者 代表取締役 青木 隆明

■ 設 立 昭和51年7月2日

■ 資本金 10,000千円

■ 従業員数 32人

■ 業 種 飲食料品卸売業

■ 所在地 〒607-8179 京都市山科区大宅御所田町30-3

■ 実施場所 〒607-8165 京都市山科区柳辻平田町160番地

■ TEL/FAX TEL. 075-592-8773 / FAX. 075-592-8370

■ URL https://kashideri.com

■ E-mail t.aoki@aokikoetsudo.co.jp

■ 得意分野 多品種の菓子卸売

目的、取組のきっかけ

当社は明治25年創業の菓子卸売業です。全国のこだわりのスーパーマーケットを主な販売先として、年間2000アイテムのお菓子を販売しています。取り扱うお菓子は職人さんの思いが詰まった、原材料や製造方法にこだわりのある商品を厳選しています。

◆「カシデリ」事業への取り組み

当社は、平成26年に業界初の高齢者施設向け「お菓子の宅配・献立システム」（現「カシデリ」）事業を始めました。4代目となる現社長が、高齢者施設では毎日の利用者のおやつメニューや調達に苦勞をされているという話を聞いたことがきっかけで、このサービスを思いつきました。

サービス開始当初は、初めての事業に試行錯誤の連続でしたが、3度のモデルチェンジを経て、ようやく採算の合う仕組み作りに成功し、事業が軌道に乗るようになりました。

この「カシデリ」では、月1回メニューをカレンダー方式でお届けして、人数単位または袋単位で注文を受け、宅配でお菓子を届けます。



宅配おやつカレンダー

お菓子は高齢者でも食べやすい柔らかいお菓子を中心に常時100種類以上を取り揃えています。1食50円という分かりやすい料金設定や定期購入でなくてもスポット注文でもできる手軽さが受け、注文は次第に増えていきました。

◆「カシデリ」物流の仕組み構築

「カシデリ」事業は、当初は既存事業のスーパーマーケット向け出荷の一部スペースで始めたのですが、取扱量が多くなり手狭になったため、大量荷捌きが可能になる新倉庫を開設することにしました。

同時に、物流システムの仕組み作りにも取り組みました。「カシデリ」事業では一人分単位での受注となるため、人海戦術による手作業での対応を余儀なくされていました。注文が増加する中で大量受注可能な環境を整えることが急務でありました。



カシデリセンター

取組内容

◆受発注システムの構築

「カシデリ」の注文方法は、高齢者施設が当社の宅配おやつカレンダーを見て発注書に数量を記入し、FAXで発注をします。その後、当社は受け取ったFAXから手入力で注文を入力する必要がありました。

今回の取り組みでは、新たに構築したカシデリ専用ソフト（ECサイト）と既存の基幹システムを連携させるシステムを導入しました。これにより、カシデリ専用ソフトにて自動受

企業概要

明治25年に創業し、建仁寺納豆をはじめ、金平糖やおせんべい等の菓子卸売業を128年続けています。「一つ一つを丁寧に、一人一人を大切に」の心で、本物の銘菓を日本中に、世界中にお届けします。

主要製品

「こころなごむ故郷の銘菓」シリーズをはじめとする年間約2000アイテムのお菓子を販売しています。



自慢の多種多様なお菓子



プチギフトのこんぺいとう



食べて和んで、見て和む「COVACO®」シリーズ

信した注文を基幹システムと連携させ、ワンクリックでデータの移行が行えるようになりました。

また、ハンディーターミナルを導入して、人の目で行っていた商品の検品作業をバーコード読み取りに変更し、正確性の向上と省力化を実現しました。



ハンディーターミナル

◆大量荷捌き可能なピッキングシステムの構築

「カシデリ」では、少量多品目な商品を扱っているため、ピッキングシステムの効率化も行いました。今回の補助事業によりラベル自動印字貼付機一式を導入し、手作業であったシール貼り作業を自動化することができました。

また、ダンボールの組み立て作業のための半自動製函機を導入しました。これまで、箱の組み立て作業は男性社員の役割でしたが、この機械は女性社員など力の弱い人でも作業ができます。



ラベル自動印字貼付機



半自動製函機

成果と今後の展開

◆作業効率の大幅改善と事業拡大

新倉庫は準備期間を経て、平成31年1月より運用が開始しました。受発注システムとピッキングシステムの構築に伴い、作業時間は大幅に短縮されました。

お菓子を届ける高齢者施設はこの2年間で104件から475件にまで増加し、北海道から九州まで全国の施設にご利用頂いています。

◆従業員の意欲向上

「カシデリ」事業が好評となり、高齢者施設の方々からは感謝のお声を頂いております。直接、お客様の「ありがとう」の言葉を聞けることは、従業員の大きなやりがいとなっています。また、既存のスーパーマーケット向け事業のメンバーにとっても、「カシデリ」事業の躍進は大きな刺激となっており、お互いが切磋琢磨していける関係となっています。

◆今後の展開

最近では嚥下困難な高齢者向けのメニューも作成し、より多くの利用者の方に楽しんでもらえる工夫をしています。本来お菓子の持つ魅力は多品種で季節感を感じられる、楽しくうれしい存在であるということをもっと多くの方に実感してもらいたい、そのためにも当社は高齢者施設向け菓子卸売業で全国シェアNo.1を目指します。

当社の経営理念である「喜び創造企業」として、お客様、取引先、従業員みんなに喜びの連鎖を広げていきたいと考えています。



オリジナルブランドの袋菓子

保存できるチャック付き袋
シリーズも登場。